⑸　配置予定技術者の確認　落札者決定後、ＣＯＲＩＮＳ等により配置予定技術者の専任制違反の事実が確認された場合、契約を結ばないことがある。なお、種々の状況からやむを得ないものとして承認された場合の外は、配置予定技術者の変更は認められない。
⑹　専任の監理技術者の配置が義務づけられている工事において、調査基準価格を下回った価格をもって契約する場合においては、監理技術者とは別に同等の要件を満たす技術者の配置を求めることがある（入札説明書参照。）。
⑺　低入札価格調査制度調査対象工事においては、請負者は工事コスト調査に協力しなければならない。（入札説明書参照。）
　工事コスト調査に係る資料は、中国地方整備局のホームページにより公表する。
⑻　手続きにおける交渉の有無　無。
⑼　契約書作成の要否　要。
⑽　当該工事に直接関連する他の工事の請負契約を当該工事の請負契約の相手方との随意契約により締結する予定の有無　無。
⑾　関連情報を入手するための照会窓口　上記４⑴に同じ。
⑿　必要に応じて申請書及び資料のヒアリングを行う。
⒀　入札書（施工体制の確認に係る部分に限る。）のヒアリングを実施するとともに、ヒアリングに際して追加資料の提出を求めることがある（入札説明書参照。）。
⒁　技術提案の採否　技術提案の採否については、競争参加資格の確認の通知に併せて通知する。
⒂　競争参加資格の確認の通知において、技術提案により競争参加資格を認められた者は、当該提案に基づく入札を行い、標準案により競争参加を認められた者は、標準案に基づく入札を行うことを条件とする。
⒃　受注者の責により、「覆工コンクリートの品質・耐久性向上に関する施工計画」、「下部工コンクリートの品質・耐久性向上に関する施工計画」及び「騒音・振動対策に関する施工計画」の入札時の技術提案（具体的な施工計画）を遵守できなかった場合は、履行できなかった提案項目を「否」とした上で、技術提案（具体的な施工計画）全体の再評価を行い、当初契約時に取得した加算点との差額分に相当する額（詳細は入札説明書による）を違約金として徴収するとともに、工事成績評定点の減点を行うものとする。工事成績評定点の減点は、遵守できなかった評価項目毎に「当初契約時の加算点」と「不履行となった提案項目を「否」とした上で、技術提案書の再評価を行い、決定した加算点」との差分を減点する。
　ただし、違約金は、当初契約額の10％を限度、工事成績評定点の減点は最大10点を限度とし、特に悪質な場合は、最大20点を限度に減点するものとする。
　また、低入札価格調査制度調査対象工事については、評価項目毎に「満点」に相当する点を減点する。
⒄　契約締結後のＶＥ提案　契約締結後、請負者は、設計図書に定める工事目的物の機能、性能等を低下させることなく請負代金額を低減することを可能とする施工方法等に係る設計図書の変更について、発注者に提案することができる。提案が適正と認められた場合には、設計図書を変更し、必要があると認められる場合には請負代金額の変更を行うものとする。ただし、総合評価における評価項目については契約締結後のＶＥ提案の対象外とする。
　詳細は特記仕様書等による。
⒅　一般競争参加資格の認定を受けていない者の参加　上記２⑵に掲げる一般競争参加資格の認定を受けていない者も上記４⑷により申請書を提出することができるが、競争に参加するためには、開札の時において、当該資格の認定を受け、かつ、競争参加資格の確認を受けていなければならない。
⒆　低入札価格調査制度調査対象工事の場合には、不当廉売の疑いがあるものとして公正取引委員会に報告することがある。
⒇　本案件は、資料提出及び入札等を電子入札システムで行うものであり、対応についての詳細は入札説明書による。
(21)　詳細は入札説明書による。

6　Summary

⑴　Official in charge of disbursement of the procuring entity : Isao Fukuda Director-General of Chugoku Regional Development Bureau, Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism
⑵　Classification of the services to be procured : 41
⑶　Subject matter of the contract : Construction work of Onomichi-Matsue-Jidousha-road Yokohata-tunnel
⑷　Time-limit for the submission of application forms and relevant documents for the qualification by electronic bidding system : 5 : 00 P.M. 18 November 2009
⑸　Time-limit for the submission of tenders by electronic bidding system 3 : 30 P.M. 25 January 2010 (tenders brung with 3 : 30 P.M. 25 January 2010 or submitted by mail 3 : 30 P.M. 25 January 2010)
⑹　Contact point for tender documentation : Contract Division, General Affairs Department, Chugoku Regional Development Bureau, Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, 6―30, Kami-hacchobori, Nakaku, Hiroshima 〒730―8530 TEL 082―221―9231 Extension 2526

○第２号

1　工事概要
⑴　品目分類番号　41
⑵　工事名　尾道・松江自動車道川平トンネル工事（電子入札対象案件）
⑶　工事場所　広島県庄原市口和町金田～庄原市口和町常定地内
⑷　工事内容　工事延長：Ｌ＝1,990m（内Ｌ＝1,690m（１工区）＋Ｌ＝300m（２工区））
　【川平トンネル】トンネル延長　Ｌ＝1,030m
　（内空断面：Ａ＝61.8㎡）
　トンネル工（ＮＡＴＭ工法）１工区
　掘削支保工　Ｌ＝1,030m
　覆工　Ｌ＝1,030m
　インバート工　Ｌ＝255m
　坑門工　Ｎ＝２基
　仮設工（トンネル仮設備等）１式
　道路改良工　１式
　道路土工　２工区
　盛土工　Ｖ＝83,000㎥
⑸　工期　平成24年３月31日まで
⑹　使用する主要な資機材
　生コンクリート　約12.0千㎥
　セメント　約19.0百トン
　鋼材（形鋼）約2.0百トン
⑺、⑻は、第１号１⑺、⑻に同じ。
2　競争参加資格
⑴～⑸は、第１号２⑴～⑸に同じ。
⑹　平成８年度以降に、元請けとして完成・引渡しが完了した、下記の要件を満たす工事の施工実績を有すること。
・同種工事とは、下記の要件を満たす工事とする。
　同一トンネルで、ＮＡＴＭによるトンネル内空断面積（覆工後の内空断面積）55㎡以上かつ施工延長900m以上のトンネル工事の施工実績を有すること。
　共同企業体の構成員としての実績は出資比率が20％以上の場合、協業組合及び企業組合にあっては当該組合施工の場合に限る。
　経常建設共同企業体にあっては、全ての構成員が同種工事の施工実績を有すること。
　なお、当該実績が国土交通省が発注した工事のうち入札説明書に示すものに係る実績である場合にあっては、工事成績評定通知書に記載されている評定点（以下「評定点」という。）が入札説明書に示す点数未満のものを除く。
⑺　総合評価方式に係る施工計画　「覆工コンクリートの品質・耐久性向上に関する施工計画」、「トンネル本体にかかるリサイクル対策に関する施工計画」及び「騒音対策に関する施工計画」が適正であること。
⑻～⑾は、第１号２⑻～⑾に同じ。
3　総合評価に関する事項
⑴　本工事の総合評価における評価項目及び評価の着目点は、次のとおりとする。
１）施工体制（施工体制評価点）
①　品質確保の実効性　「工事の品質確保のための適切な施工体制」について着目し評価する。
②　施工体制確保の確実性　「工事の品質確保のための施工体制のほか、必要な人員及び材料の確保等の適切な施工体制」について着目し評価する。
２）技術提案（具体的な施工計画）（加算点）
①　覆工コンクリートの品質・耐久性向上に関する施工計画　覆工コンクリートの品質・耐久性の向上を図るために、覆工コンクリートの緻密性等を向上させるための手段について着目し評価する。
②　トンネル本体にかかるリサイクル対策に関する施工計画　トンネル本体工事に伴い発生する建設廃棄物の発生の抑制、有効利用の向上・再資源化及び、再生資材の利用促進を図るため、建設リサイクルを向上させる手段に着目し評価する。なお、トンネル工に係る技術提案以外は評価対象外とする場合がある。